

## 1 教科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、学習活動を通して、資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。

(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

(3) 数学的活動の楽しさや数学の利点を実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

## 2 評価の観点と内容および評価方法

	観 点	内 容	評価の方法
①	知識・技能	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期テスト</li> <li>・ 单元ごとに実施する小テスト</li> </ul>
②	思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察したり、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察したり、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期テスト</li> <li>・ 单元ごとに実施する小テスト</li> <li>・ レポートの内容</li> <li>・</li> </ul>
③	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学の利点を実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小テスト、定期テスト</li> <li>・ 授業ノート、ワーク、自主学習ノートの提出</li> <li>・ 授業、グループワークに取り組む姿勢</li> <li>・ ふりかえりシートの内容</li> <li>・ レポートの内容</li> </ul>

## 3 学習のてびき

使用教材	教科書：未来へひろがる数学2（啓林館） ワーク：数学リポート学習（正進社） プリント：観点別評価wプリント（新学社）
	<授業>

学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問に思ったことや分かったことなどを積極的に発表しましょう。</li> <li>・先生や仲間の話を静かに聞きましょう。</li> <li>・前向きに問題に取り組みましょう。</li> </ul> <テスト> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した内容を教科書・ノート・ワーク・プリントを使って復習しましょう。分からないところや疑問点は先生に聞いてください。</li> </ul>
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の理解度に合わせて計画を立てましょう。</li> <li>・学習した内容をワークで確認しましょう。</li> <li>・どこを理解しているのか、理解していないのか分析しましょう。</li> <li>・曖昧な所を練習しましょう。</li> </ul>

#### 4 年間計画

3学期制	章	節
4月	1章 式の計算 (12)	1節 式の計算
		2節 文字式の利用
		章末問題
5月	2章 連立方程式 (13)	1節 連立方程式
		2節 連立方程式の利用
		章末問題
6月	3章 一次関数 (20)	1節 一次関数とグラフ
		2節 一次関数と方程式
		3節 一次関数の利用
7月	4章 図形の調べ方 (16)	章末問題
		1節 平行と合同
		2節 証明
9月	5章 図形の性質と証明 (19)	章末問題
		1節 三角形
		2節 四角形
10月	6章 場合の数と確率 (8)	章末問題
		1節 場合の数と確率
		章末問題
11月	7章 箱ひげ図とデータの活用 (7)	1節 箱ひげ図
		1節 箱ひげ図
		1節 箱ひげ図
12月		
1月		
2月		
3月		

		章末問題
--	--	------